



大洞原からの妙高山

えちご妙高会

第 1 1 回

総会・懇親会

2015年7月12日（日）

渋谷エクセルホテル東急
6階プラネッツルーム

第11回総会・懇親会開催実行委員会

進行次第

司 会： 吉越昌治
嶋田輝子

第一部 総会 (13:00～13:40)

- | | | | |
|-------|-------|------------------|--------|
| ・開会の辞 | …………… | 副会長（開催実行委員長） | 笠井 忠 |
| ・会長挨拶 | …………… | 会 長 | 豊田 寛 |
| ・来賓紹介 | | | |
| ・来賓挨拶 | …………… | 妙高市顧問 | 引場良男 様 |
| | | 東京新潟県人会 会長代理 副会長 | 曾山孝一 様 |
| ・活動報告 | …………… | 会長代行 | 尾嶋光教 |
| | | 会計担当 | 宮下忠司 |
| ・閉会の辞 | …………… | 副会長 | 長谷川競子 |

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ 休 憩 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

第二部 懇親会 (13:50～16:00)

- | | | | |
|--------|-------|--------------------|----------|
| ・立 川 流 | …………… | 渋谷寄席 真打ち | 立川キウイ 師匠 |
| ・乾 杯 | …………… | 一般財団法人東京新潟県人会館 理事長 | 川村敏夫 様 |

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ お食事・ご歓談 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

- | | | | |
|---------|-------|------------------|---------|
| ・来賓挨拶 | …………… | 妙高市議会 議長 | 佐藤光雄 様 |
| | | 妙高女将会 | 村山美枝子 様 |
| ・妙高だより | …………… | 妙高市観光商工課 観光振興室長 | 高橋正一 様 |
| | | NPO法人e-myoko 理事長 | 小出修一 様 |
| ・みんなで合唱 | …………… | 妙高市の歌/ふるさと 指揮 | 高橋正一 様 |
| ・閉会の辞 | …………… | えちご妙高会名誉会長 | 西脇与作 |

ノーベル賞晩餐会で供された北欧紅茶



北欧紅茶は5ブレンド

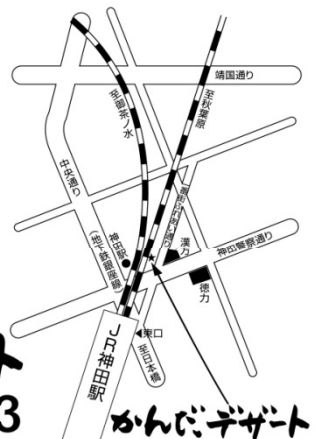
- ①セーデルブレンド……………北欧紅茶の代表種。甘い香りと豊かな風味。
②アールグレイスベシヤル……………マイルドでおいしいブレンドティー。
③ティーセンターブレンド……………まるやかでコクのあるセイロンティー。
④サージョンブレンド……………独特の風味とさわやかな味わい。
⑤スパイスブレンド……………スパイスで東洋的風味。人気急上昇。

北欧紅茶試飲見本送呈!

味と香りをお確かめの上お求めください。
左の茶葉から選んでお電話・ハガキ・FAXで
お申込ください。本紙をお持ちくだされば
「かんだデザート」店内でもご試飲いた
けます（試飲は1種。9月末日まで）

かんだデザート
03-5295-3733

千代田区鍛冶町2-11-20(神田駅東口高架下)
11:00～20:00(土曜14:00～20:00/日祝定休)





ご挨拶

えちご妙高会
会長 豊田 寛

本日は多くのご来賓、そして会員の方々にご出席いただき、誠にありがとうございます。昨年9月に西脇与作前会長から会長を引き継ぎ、早11ヶ月が経ちました。新執行部として恒例の総会・懇親会の11回目を迎えることができました。謹んで皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。

私は、故郷を離れてから半世紀以上は経ちました。妙高は、冬は雪が深く日常生活は大変でした。雪に閉ざされた冬の辛い生活は今でも記憶に鮮明です。でも、自然が厳しければ、人は気持ちを一緒にして生き抜いて未来を作ってゆく、逆説的に言えば、自然が人を作ると言えるかもしれません。そして大きな目で見れば、妙高山の裾野に広がる郷土は雪のおかげで様々な恵みを受けているとも言えます。過言すれば、私たちの持っている独自の性質や特徴を形成する大きな要素は、妙高山山容の視覚的影響並びに豪雪とその中での生活と、妙高の持つ自然的影響に起因しているかもしれません。皆様は遊びや、学習や、生活の知恵などの物心を妙高の自然とともに育んだことでしょう。そして皆、脳裏に焼き付けられた自分の妙高山の姿を持っていると思います。

昨今は、ソーシャル・キャピタルという言葉も聞きます。この概念は、「社会問題に関わっていく自発的団体の多様さ」「社会全体の人間関係の豊かさ」の社会関係資本を意味します。言い換えれば、いかに多くの友人と付き合うか、近所の人と雑談できるかなど「顔の見えるお付き合い」すべてを指します。地域力、社会の結束力が豊かな地域は、政治や治安の向上、地域住民の健康保持など、経済面社会面において好ましい効果をもたらしていると言われています。反面、蓄積化が進むと、その均一化、同一化も起きやすく、「蓄積されない」流動的な社交関係の必要性も指摘されています。ふるさと妙高も交通網の発達で近くなりました。自発的、積極的にふるさとに接し、「顔の見えるお付き合い」を深めたいものです。

懇親会では、ふるさと妙高を隣同士で自慢しあい、妙高のよさを再確認し、そして誇ろうではありませんか。えちご妙高会は皆様とともに育っていきます。短い時間ではありますが楽しい時間をお過ごしください。本日はありがとうございました。



妙高市より お祝いの言葉

市長 入村 明

えちご妙高会が発足して11年目を迎えられ、盛大に総会が開催されますことを、妙高市民を代表して心からお祝い申し上げます。また、日頃より当市の情報発信や、首都圏での誘客に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご存じのとおり、平成17年4月に新井市・妙高高原町・妙高村の3市町村の合併により妙高市が誕生し、10年が経過いたしました。この間、リーマン・ショックによる世界的不況、また、東日本大震災という未曾有の大災害、これら二つの大きな危機に直面し、社会情勢もさまざまに変化しました。特に、地方の人口減少問題は我が国の主要課題として認識されており、各地域がそれぞれの特徴を活かして自律的、持続的に対処していくことが求められております。今年は「地方創生元年」と位置付けられ、全国で本格的に地方創生の動きが始動しようとしています。当市におきましても、この課題に向き合うと同時に、より一層妙高市の魅力を磨き上げ、生命地域創造都市・妙高を確立するため、全力で取り組んで参ります。

今春、当市は歴史的な一步を踏み出しました。全国32番目の国立公園である「妙高戸隠連山国立公園」の誕生と、北陸新幹線の長野ー金沢間の延伸開業は、観光振興をはじめ、市の活性化を図るうえで、千載一遇のチャンスであります。国立公園の誕生は、妙高の豊かな自然の恵みを再認識する契機でもあります。地域の皆様や周辺自治体と協力しながら、観光振興だけでなく、環境保全活動にも力を入れて参ります。また、北陸新幹線の開業によって、皆様のふるさと妙高がより身近になりました。ぜひ、えちご妙高会会員の皆様にも、北陸新幹線で当市を気軽に訪れていただき、豊かな自然を堪能していただけたら幸いに存じます。

これからも、貴会会員の皆様とともに、全国に誇ることでありますふるさと妙高の発展に力を注いで参る所存ですので、何卒、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴会の益々のご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念するとともに、妙高への変わらぬご愛顧をお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

えちご妙高会執行部からの一言メッセージ



会長代行
尾嶋光教
(事務局連絡担当)

出身：妙高市大鹿
県立高田工業高校

今回から事務局の連絡部門を担当している尾嶋です。昔から「故郷は遠きにありて思うもの…」と言われてきましたが、交通手段の発達した現在はその気になればいつでも故郷を訪れる事が出来ます。私達は「妙高」という共通する故郷の自然に守られて育ち、都会に出ました。私はその故郷への恩返しと思い、「妙高」という素晴らしい自然環境を共有した皆様の、故郷との交流の一助になればと「えちご妙高会」の運営に役員一同と協力して努力してまいります。



副会長
笠井 忠
(総会・懇親会開催実行委員長)

出身：妙高市関山
県立高田工業高校

この度の第11回総会・懇親会の実行委員長の笠井忠です。過去10年間は、小出修一さん、藤田恵美子さんが、多岐にわたり準備されてきましたことに、感謝申し上げます。えちご妙高会の前身の頸南連合から20数年になりますが、今まで役員をやれたことは、これもひとえに会員の皆様方の支えがあったこそと感謝し、今後ともえちご妙高会発展に努力いたします。



副会長
長谷川競子

出身：妙高市田切
県立新井高等学校

会社勤めも終わり、年金生活を送っています。朝、5時過ぎに起き、息子達を見送り、1日が始まります。その後急いで身支度をし、三河島6時46分発の電車で、北千住へ駅の階段をかけ上がり、かけ降り、バスに飛び乗ります。娘が7時半には家を出るので、その後の孫3人の世話をしています。毎日色々な事があり、心身共に疲れ気味です。早く大きくなって、楽、させてえ～。



物産担当
杉野文雄

出身：妙高市大崎町
県立新井高等学校

私は総会、懇親会の会場に於いて、妙高市の物産品の販売に加え品揃えも担当することになりました。新井高校卒業後、デパートに就職し定年まで勤務、仕入業務も十数年担当致しました。この貴重な経験を生かし皆様に故郷の美味しいもの、懐かしい味をご提供出来ますよう全力で頑張ります。



会計担当
宮下忠司

出身：妙高市桶海
県立新井高等学校

会計担当の宮下です。私は、現在のえちご妙高会の前身である、妙高会・頸南連合会の頃からお世話になっております。いつも役員・会員の皆様に助けていただき感謝しております。今後とも皆様方のご協力をよろしくお願い致します。



記録担当
嶋田輝子

出身：妙高市田切
県立新井高等学校

3月14日、北陸新幹線が開通し、妙高市のイベントに参加しました。駅構内にたくさんの人達が行き交い、JR関係者や妙高市民がこの日に懸けた熱い思いが感じられました。私も、？十年ぶりに雪のある故郷(旧妙高高原出身)に降り立ち、妙高山の美しさと故郷のある幸せを感じる記念の日となりました。

えちご妙高会からのお知らせ

4月29日に妙高市文化ホールにて妙高市10周年記念式典が開催され、当会は妙高市長より市政功労者表彰を受けました。

また、下記の二点については今年度の重点施策として実施しています。

- ① 新たな会員の募集を行っています。皆様からのご紹介を是非お願いいたします。
- ② 会の活動方針等について皆様からのご意見を求めています。

えちご妙高会

検索

会の活動内容確認や、ご意見はWEBホームページで

来年2016年の総会・懇親会開催は7月9日(土曜日)を予定しています。詳細が決定しましたらWEBホームページなどでお知らせします。

是非、次回もご参加いただきますようお願い申し上げます。

故郷が私たちを惹きつけるわけ



名誉会長
西脇与作

(えちご妙高会前会長)

人はそれぞれ自分だけの「私の故郷」を心の奥底にしまい込んでいる。だが、自分たちが生まれた地域が僅かに異なるからといって、それぞれ違った故郷をもっている、とは思っていない。新潟出身でも下越と上越は違う。だが、下越の人も上越の人も同じ新潟出身だと思い、同じ故郷を持ち、よく似た子供時代を過ごしたと信じている。では、胸に秘めた「私の故郷」をもつ人たちが、なぜ同じ故郷をもつと信じるのだろうか？そんな問いが私の心を占め、その答えを無性に探したくなった。「同じ」故郷をもつには「同じ」何かがあるに違いない。それが見つかれば答えになるだろう。行政区分は安易な「同じ」基準だが、今は使うべきではない。下越の人と上越の人は違った市町村で育ったからである。だから、「同じ」基準を別に見つけなければならない。妙高出身者に共通する「故郷」の最大公約数は何なのか。そこであれこれ思案。すると、「同じ」基準の中でこれと思われる「同じ自然環境」、「同じ文化や習慣」、「同じ宗教」の三つが浮かび上がってきた。

まずは「同じ自然環境」。これは文句なく、妙高山である。どこからでも眺めることができ、雪を頂く妙高山は山肌のできる雪形とともに正に妙高市のシンボル。妙高山の記憶はほぼ等しくえちご妙高会のメンバーに刻み込まれている。メンバーの誰もが妙高山の姿を容易に想像し、生き生きと描くことができる。その妙高山も江戸時代は信仰の対象として普通には登れない神聖な山で、関山神社の別当宝蔵院が妙高山を支配・管理していた。だから、いつでも登山でき、楽しめる今の妙高山とは違い、かつての妙高山は崇め、祈ることしかできない信仰の山だった。ともあれ、日本人なら富士山、妙高生まれなら妙高山、いずれも雪がよく似合う。

次は「同じ文化や習慣」。雪の中での生活習慣や民芸品が思い浮かぶが、今はすっかり変わり、習慣は廃れ、民芸品は使われなくなった。藁沓をはき、角巻を着て雪道を急ぎ足に歩く女性の姿は既がない。では、「同じもの」は何か？世代を越えて共通の「同じ」ものは言葉だろう。妙高市の

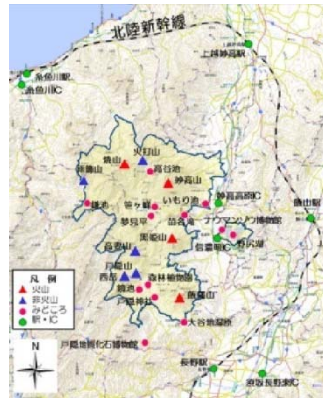
方言は新井、妙高高原、妙高のどの地区もよく似ていて、いくつかの単語、謂い回し、イントネーションが標準語と異なっているが、総じてわかりやすい方言である。例えば、「おまん」は妙高固有の二人称表現ではなく、土佐、甲州、志賀などでも使われている。今の私はその方言をすっかり忘れ、正しく喋れない。これはえちご妙高会のメンバーも大同小異だろうが、聞けば何とも言えない懐かしい響きが耳をくすぐる。

最後は「同じ宗教」。日本の仏教寺院は江戸幕府の巧みな政略で戸籍係になり下がってしまい、戦後は葬式仏教とまで揶揄され、それで私たちメンバーの紐帯になっていると言えるのか、という反論が必ずや出てくる。仏教がえちご妙高会のメンバーの意識的な絆だと言うつもりは毛頭ない。ただ、妙高市は新潟県の中だけでなく、一向一揆があった越前、越中を含めても、浄土真宗の寺の割合が優に9割を越え、ほぼ独占状態のトップ、つまり日本一なのである。統計上、妙高市は浄土真宗一色。むろん、真面目な門徒は少ないから誰も気づかずに、「南無阿弥陀仏(ナマンダブ)」と唱えることも聞くこともごく自然で、当たり前という環境で暮らしてきた。無意識にえちご妙高会のメンバーを結びつけているのがこの浄土真宗の風土ではないのか。願生寺と浄興寺の間の異安心論争(法然、親鸞の教えに反する異端思想かどうかの論争)、敗れた願生寺が取り壊され、新井別院ができたという一連の事件などすっかり忘れ去られているが、浄土真宗の各寺が妙高に今でもあり続ける遠因になっている。

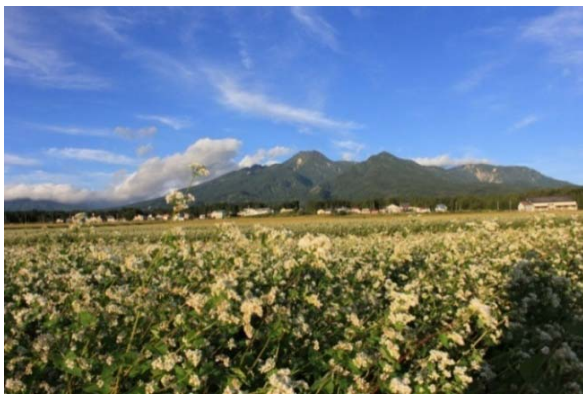
三つも強力な「同じもの」が共有されているなら、最大公約数として鬼に金棒。妙高に連なる人たちもそのいずれか一つをもっていれば、妙高の仲間、理解者だと十分に胸を張ることができる。妙高を愛する人たち、すなわち「妙高人」が「妙高国」の一員であるIDは、上述の三つの基準の何れか一つを満たすことなのである。

「妙高戸隠連山国立公園」誕生

平成27年3月27日に「妙高戸隠連山国立公園」が誕生しました。
ふるさと妙高では、春、夏、秋、冬と四季の変化に富み、それぞれの色彩を色濃く感じることが出来ます。



この国立公園は、火山と非火山が密集し、それらの山岳と点在する高原や湿原、湖沼が一体的な自然景観を作り出していることです。四季を通じてスキー・自然探勝・温泉・トレッキング・キャンプなど恵まれた自然を活かした様々な楽しみを提供しています。また、民俗文化財も豊富です。



Sinto 新東産業株式会社

代表取締役 小出修一

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル3F

ホームページ <http://www.sinto-sangyo.co.jp>

TEL 03-3400-4141 FAX 03-3400-9617

支社・支店 柏崎 上越 横浜 千葉 埼玉

ビル管理とエンジニアリングの総合プランナー

活動の記録

2014年9月に旧執行部よりの引継ぎ後の主な活動

2014年(平成26年)

- 8月31日(日) 役員会(新執行部初会合)
- 9月16日(火) 旧執行部からの引継ぎ(渋谷・新東産業)
- 9月27日(土) 新旧役員懇親会(上野・鳥良)
- 10月13日(月) 役員会
- 11月18日(木) 新執行部妙高市役所訪問
- 11月19日(金) 妙高地元企業訪問
(かんずり、鮎正宗、君の井、妙高ふるさと振興株式会社)
- 12月14日(日) 役員会
- 12月14日(日) 忘年会開催(湯島・こんごう庵)

えちご妙高会 役員等一覧
(2015年7月現在)

名誉顧問	入村 明 (妙高市長)
顧問	佐藤光雄 (妙高市議会議員)
顧問	金子重雄

名誉会長	西脇与作
相談役	酒井浄秀
相談役	中村一彦
相談役	山崎和子

2015年(平成27年)

- 1月21日(水) 新年会開催(e-myoko合同)
(上野・吉池)
- 3月 7日(土) 役員会
- 3月14日(土) 北陸新幹線「上越妙高駅」開業
(開業イベント訪問)
- 4月 5日(日) 役員会
- 4月18日(土) 東京新潟県人会芸能大会参加(上野・東天紅)
- 4月26日(日) 役員会
- 4月26日(日) 総会・懇親会事業キックオフミーティング
(東京新潟県人会館会議室)
- 4月29日(水) 妙高市10周年記念式典にて市政功労者表彰
(妙高市文化ホール)



【執行部役員】

会長	豊田 寛
会長代行	尾嶋光教 (事務局連絡担当)
副会長	笠井 忠
副会長	長谷川競子
物産担当	杉野文雄
会計担当	宮下忠司
記録担当	嶋田輝子
特 命	西脇与作 (交流担当)

会計監査	吉越昌治
会計監査	影山律子

【幹事グループ】(順不同)

幹 事	相浦俊雄
幹 事	秋山陽子
幹 事	飯塚敏郎
幹 事	大竹由美子
幹 事	大橋扶久子
幹 事	岡安とし子
幹 事	小島正徳
幹 事	小林周平
幹 事	酒井邦彦
幹 事	霜島昌弘
幹 事	戸澤末子
幹 事	松木町子



- 5月 5日(火) 妙高市艸原祭参加
「国立公園妙高歓迎パーティーin艸原祭」
- 5月17日(日) 役員会(総会案内状発送)
- 5月31日(日) 役員会
- 6月28日(日) 役員会(総会の最終準備)

木造注文住宅 一般建築 設計施工 東京都知事許可(般-23)第 136612 号

株式会社 笠井工務店 笠井建築事務所

代表取締役 笠井 忠 えちご妙高会 副会長

〒115-0056 東京都北区西が丘2丁目5番21号

電話03-3900-8811 FAX03-3900-1509

携帯090-3238-7226 Eメール: tadakasa@cream.plala.or.jp

妙高市の歌「めぐる季節は」

作詞・作曲 荒木とよひさ

生まれたばかりの	朝の光を
手のひらにそっと	のせてごらんよ
生きていることが	こんなに眩しく
小さな生命が	輝いているよ
めぐる季節はきっと	あしたの贈りもの
うけつぐこの生命は	美しいから
うけつぐこの妙高は	美しいから

生まれたばかりの	風の言葉を
愛するだれかと	聴いてごらんよ
見つめる瞳が	こんなに優しく
ふれ合う心が	ときめいてくるよ
めぐる季節はきっと	未来の贈りもの
うけつぐこの心は	美しいから
うけつぐこの妙高は	美しいから

ラララ・・・

ラララ . . .

めぐる季節はきっと あしたの贈りもの
うけつぐこの生命は 美しいから
うけつぐこの妙高は 美しいから

ふ る さ と

作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一

1. 兎追ひし 彼の山
小鮒釣りし 彼の川
夢は今も 巡りて
忘れ難き 故郷

2. 如何にいます 父母
恙無しや 友がき
雨に風に つけても
思ひ出づる 故郷

3. 志を 果たして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

第11回総会・懇親会開催実行委員会

メンバー一覽 (順不同・敬称略)

尾嶋光教	笠井 忠（実行委員長）	
豊田 寛	宮下 忠司	西脇与作
杉野文雄	長谷川競子	嶋田輝子
飯塚敏郎	小林周平	戸澤末子
山崎和子	相浦俊雄	秋山陽子
吉越昌治	饒村 寛	酒井邦彦
大竹由美子	大橋扶久子	小島正徳
霜鳥昌弘	松木町子	影山律子
岡安とし子	尾嶋悦子	宮下ちづ子

協力者一覽（順不同・敬称略）

妙高市観光商工課
一般社団法人妙高市観光協会
株式会社上越タイムス社
有限会社妙高ファーム
倉俣数磨（写真提供・妙高市在住）
川上昭治（写真提供・妙高市在住）